

平成26年8月30日

大山町議会

議長 野口敏明 殿

広報常任委員会

副委員長 米本隆記

鳥取県町村議会広報研修会報告書

1. 日 時 平成26年8月28日（金）午後1時30分より

2. 研修場所 プランナールみささ

3. 研修内容

①議会広報誌における紙面表現の基本

ア読まれる「議会広報紙」を考えるために

リード・小見出しで内容がわかるように

住民の登場や意見の掲載は

写真・グラフを使った読みやすい表現か

イ知りておきたい視覚化の基礎知識

書体の性格を使い分け（3つ位で）

文字数と行数で可読性を考える

ウ紙面レイアウトの方法と住民視点に立った表現

単純な紙面に

何処に注目させるのか

視線の誘導に配慮したレイアウトに

②県内11広報誌のクリニック

各紙指摘はあったがおおむねまとまりの良い紙面との好評であった。

本町が出品した36号では1・2ページでは3月定例会のページでありながら見出しに3月定例会と入れてない。11ページからの委員会の活動はリードがあれば指摘があった。その他のページは高評価である。

4. 感想

本町独自と思って編集していたが、各紙クリニックを聞くと他町村もいろいろと同じような紙面づくりをしていて、さほど差を感じなかった。

今回の研修では、紙面レイアウトの方法が参考になった。わかりやすく、読みやすいを心がけ、今以上に愛読される紙面づくりに生かしていきたい。